

愛隣の風

愛隣園だより
第13号
発行責任者
迎田 浩二



子ヤギの「こおぎちゃん」の休日

愛隣園 基本理念

この人
汝の隣
愛すべし

マタイ伝第二章九節

律法の専門家が、イエスを試そうとして尋ねた。「先生、律法の中で、どの掟が最も重要でしょうか。」
イエスは言われた。「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。」
これが最も重要な第一の掟である。
第二も、これと同じように重要である。
『隣人を自分のように愛しなさい。』
律法全体と預言者は、この二つの掟に基いている。」
(マタイ伝二十二章三十五〜四十節)

子どもの意見聴取と政策反映が始まります

令和四年六月公布、五年四月施行の子ども基本法、開庁予定の子ども家庭庁、子どもの権利条約の趣旨等、子ども達の権利を守る立場からも、国や地方自治体の政策に子ども当事者の意見を反映する規定が設けられました。

早速、熊本県でも、今まで行われていた児童相談所の児童との個別面談に加え、各施設から代表の児童を募り、意見聴取の取り組みが始まっています。子ども達に代わり擁護や代弁を行う事をアドボカシー、それを行う人をアドボケートと呼んでいます。県から委託された機関が、その聴取を行う仕組みになっています。当園からも意見表明の代表として高校生一名が参加する予定です。社会的養護利用の当事者である子ども達の権利擁護の取り組みは重要なものであります。この取り組みが主体の子ども、それを取り巻く大人、社会にとって今後有効なものとなることを期待しています。

施設長 迎田 浩二

専門職コラム

今年度より、家庭支援専門相談員の地域支援を担当することになりました。とだよういちと申します。地域の子育て家庭のご支援やお手伝いを積極的に行っていければと思います。『地域支援』と言いつつも、まだまだ未熟で勉強中の毎日です。関係機関の方々に、ご助言頂きながら、実際の支援に繋げて行ければと思います。地域の子育て家庭が実際に求められていることや、必要な支援を、届けて行ければと思います。ご家庭で、少しでも楽しく子育てができるようにお手伝いができれば幸いです。不慣れな点もあると思いますが地域の子育て力向上の為に一生懸命頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。



とだよういち
土田 洋一

新任職員紹介

5月からホワイトハウスで勤務しています。こやましき 小山詩姫です。子どもたちも先生方も毎日元気に楽しく過ごさせていただいています。趣味はスポーツ、音楽、ゲームです。子どもたちとこれからもっと笑顔で過ごせる時間を一緒に作ってきたいです。これからよろしくお願いたします。



こやましき
小山詩姫

これからよろしくお願いいたします!!!
(令和4年5月以降採用職員)

Instagramはじめました!!



今年6月からInstagramをはじめました☆
施設の子どもの様子や情報を発信していきますので、良ければご覧いただき、フォロー & 評価をお願いします!!



～温かいご支援に感謝申し上げます～

DASKA&DESIREE 様 児玉塾 様 マルハン山鹿店 様 愛隣荘 様 愛隣の家 様
金城真奈美 様 ミ・ルアール 様 マルキン食品 様 鹿子木 様 九州ろうきん 様
自習ノート事務局 様 生命保険協会熊本県協会 様 オートサルーン羽山 様
九州アイスクリーム協会 様 コーラス鹿本 様 ほっともっとな 様 勝木裕子 様

近まる、三岳小学校閉校

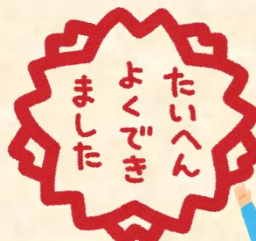
令和五年三月をもって百四十七年の歴史に幕を下ろし、閉校予定の山鹿市立三岳小学校ですが、これまで約千名の愛隣園からの児童が就学させていただきました。本当に感謝に堪えません。

当施設に入所の子ども達は、多人数の環境には適応が難しく、小規模できめ細やかに指導できる学校という事で、児童相談所ワーカーも入所の打診をされる状況がありました。今後は学校規模も大きくなり、通学もスクールバスを利用する状況となります。子ども達のスムーズな移行が出来るよう、行政や新学校との連携を更に強化していきたいものです。

校区に小中学校の無い環境での施設運営になりますが、グループ定員の六名変更も近まる中、施設が果たせる地域での機能や今後の新ホーム設置の場所についても慎重に検討を実施していく必要があります。



登下校路



Ailin Photo Studio



夏休み海水浴



海水浴砂浜にて



園内手作りプール



たこ焼きレクリエーション



職員防犯訓練



お買い物体験(文房具)



スイカ割り



ハウス調理の日



ピアノ教室ボランティア

愛隣園田植え体験



少し曇りの心地よい天気の中、職員・子どもたちで田植えを経験しました。最初は田んぼに入るのも躊躇していましたが、いざ入ってみると何とも言えない泥の感触にだんだん楽しくなってきました。端と端をひもで引っ張り、位置を確認しながら「せーのっ!」とみんなで息を合わせ、すこしずつ前へ前へ植えていきました。途中からどろんこ合戦も開催され、顔も洋服も泥だらけになりました。そして頑張ったあかしの汚れとともに記念撮影。

最後にはホースで水をかけ合い、びしょびしょになりながら、キッチンハウスの先生が用意して下さったアイスやジュースをいただきました。

1年目 CW 志水夕夏



新任職員研修会

9月9日、入社して3年以内の新任職員を対象とした研修会を行いました。この3年程はコロナの影響で研修機会が少なかったため、特に今回対象となった新任職員にとってはとても貴重な地域研修の機会となりました。今回の研修テーマは「地域資源を知る」ということで、市役所や子どもたちが通う学校の近くを通り場所を確認したり、山鹿市内の様々な名所を見学したりさせていただきました。特に山鹿市に来て日が浅い職員にとっては、八千代座や芋生の滝など行ったことのない名所も多く、職員自身も楽しみながら研修に参加していました。今回見学させていただいた場所の中にはキャンプ場や公園など、子どもたちと一緒に楽しめる場所も多くあり、移動中は「ここに連れてきたら楽しんでくれそう」「今度子どもと一緒に来ようかな」など、早速それぞれの職員が思案していました。今回の研修を、これからの子どもたちとの生活に活かしていきたいと思っております。

3年目心理士 寺師千恵



八千代座外部集合写真



八千代座内部



釘ノ花の滝集合写真

愛隣園敬老の日



児童養護施設愛隣園では毎年、敬老の日に法人の関連施設のおじいちゃん、おばあちゃんの所へ訪問しています。しかし、近年は新型コロナウイルスの影響で直接的な訪問ができなくなったため、子どもたちのダンスと感謝の言葉をDVDに撮影し、お届けしています。

今年はダンスが2曲と手話曲の計3曲を子どもたちが披露してくれました。はじめは緊張していた子ども達でしたが、いざ踊り始めると元気いっぱい一杯、練習の成果を披露してくれました。撮影後は職員が編集し、関連施設へお届けしました。

来年こそは直接訪問して、子ども達から直接感謝の気持ちを伝えたいものです。

